

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

いっと待て！！その振込み



6月9日、曾於警察署で市内金融機関 32 団体の店長さん方等を集め、振込め詐欺被害防止研修会が開催されました。

振込め詐欺は、年々減ってはいるものの県内で平成 22 年 4 月現在 19 件、被害総額 7,963,280 円とより巧妙に複雑化していて未だに大きな社会問題になっているということです。

研修会では、振込詐欺を未然に防ぐ方法の説明の後、実際に警察官が振込め詐欺に引っかかりそうなお客さんに扮して、行員がどのように対応すればよいかのロールプレイング研修がありました。お客さんは、犯人の巧みな話術に洗脳され、嘘をつこうとするところをどうやって落ち着かせるかが行員の対応のポイントだそうです。

愛情の情愛や弱みにつけ込む「振込め詐欺」は極めて悪質な犯罪です。市民皆で排除に努めましょう。

おいしいお米ができるかな？



6月11日、末吉小学校5年生の児童が高松にある学校田で、田植えを行いました。

これは、水土里サークル活動（高松地域活動隊）と総合的な学習の時間の一環として、取り組んだ授業で、日ごろから給食で食べているお米と同じ品種の「あきほなみ」を植えました。

当日は、絶好の田植え日和で、自分達で種から育てた苗を交代で昔ながらの手植えで植えました。

子ども達に話を聞くと「田んぼの中は、少しぬるぬるして気持ち悪かったけど、おじさん達がやさしく教えてくれて、とても楽しかったです。みんなで作ったお米を食べるのが楽しみです」と笑顔で話してくれました。

日本一になるには日本一の練習をする事



6月29日、財部町中谷小学校に元卓球日本代表選手の森本文江さんが来校し、トップアスリート派遣指導事業がありました。

森本さんは、ダブルスで3回日本チャンピオンになり日本代表として世界選手権に3回も出場するなど一流選手として活躍された方です。現在は神奈川県の日産ジュニアクラブでコーチとして子供達に卓球の指導を通して夢を追いかける素晴らしさを教えていらっしゃいます。

講話の中で、「卓球を続ける中で、何度も壁にぶち当たり何度もやめようと思いましたが、でも大会で優勝した時の感激と満足感があまりにも大きく、また続けようと思う事ができました。私の夢は、今はオリンピックや世界選手権で活躍できる選手を育てることです。皆さんも自分の夢に向かって一生懸命頑張ってください。どんな事でも日本一・世界一になるには日本一・世界一の練習(努力)をする事です。」と子供達を激励されました。講話の最後には子供達に3つの願いをされました。1つ目は近くにいる仲間を大切にしたい。2つ目は親・兄弟、まわりの人に感謝の気持ちをいつも忘れずに欲しい。3つ目は、スポーツを通して友達・仲間と楽しく「友情」という宝物を作りたいとおっしゃいました。

講話後、技術指導がありましたが、基本的なプレーの仕方をした後、皆で楽しく卓球を楽しみました。技術指導の最後には、変化球サーブや体全体を使ったスマッシュなどアスリートの一流のプレーを体感し、子供達もあまりの凄さにびっくりしているようでした。

閉会行事では、6年生吉村康介君がお礼の挨拶をしましたが、「僕は卓球選手になりたいのですが、まだまだ努力が足りないんだなと思いました。今日のお話を聞いて卓球の知識も勉強し、もっともっと練習して強い選手になりたいと思いました。」とハニカミながらも力強く話してくれました。

全国人権擁護委員連合会長賞表彰



原村正憲さん



大窪義孝さん

6月18日、鹿児島県人権擁護委員会総会において、末吉地区深川にお住まいの大窪義孝さんと財部地区馬立にお住まいの原村正憲さんに、人権擁護委員として永年尽力されたことを評価され、全国人権擁護委員連合会長賞を受賞されました。

大窪さんと原村さんは、人権擁護委員を3期(9年)され地域住民の人望も厚く、永年の経験で人権相談をはじめ人権思想・擁護運動に関する啓発など各種人権啓発活動に対する功労が認められたものです。今後お二人の益々のご活躍をお祈り致します。

社会を明るくする運動 強調月間



7月2日、市役所で市内の保護司と更正保護女性部の方々30名が集まり「社会を明るくする運動」メッセージ伝達と出発式がありました。

社会を明るくする運動はすべての国民が犯罪や非行の防止と犯罪をした人や非行のある少年の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動で今年で60回目を迎えています。

当日は、法務大臣や県知事のメッセージを伝達した後、山中ミチ子会長挨拶や市長の激励の挨拶がありました。

その後、保護司の方々はそれぞれ3町に分かれ、市内の学校訪問を行い運動への理解と協力をお願いしました。

財部北小・中学校 合鴨放鳥



6月2日、財部町下大峯の田んぼで財部北小・中学校の児童生徒が合鴨の放鳥をしました。

この行事は一昨年から行われている大峯地区の合鴨農法を小中学生にも知って貰う事と食育の一環として行われたものです。

はじめに、上大峯に住む堀内孝志さんから合鴨は真鴨とアヒルをかけ合わせたものだということやイタチやカラスなどから合鴨を守る為、ネットやてぐすなどで周りを張り巡らさねばならない事などの説明がありました。

財部北小学校5年の満重一希君は、「合鴨がとてかわいくとても楽しかった。来年もまたやってみたい」とうれしそうに答えてくれました。

とても綺麗に整備された田んぼに子供達の笑顔を見ることができとても幸せな気持ちになりました。

深川小 特色ある教育活動



6月29日、末吉の深川小学校で末吉の特産物「柚子」の苗の植え付けをしました。末吉町は九州でも有数の柚子の産地です。そこで、深川小学校の特色ある教育活動の一環としてこの苗木を学校で育て、柚子について学んだり、体験をとおして生産農家の方々の苦労や知恵等を学んでいく計画で行われました。

末吉柚子同好会のメンバーの方々に柚子についてや、植え付け、世話の仕方等を教えていただいて、実際に子どもたち全員で植える計画でしたが、あいにく植え付けの直前に激しい雨が降り、子どもたちは10分ほど待機していましたが、雷もなり始めたので、泣く泣く体験活動は中止とし、メンバーと職員で植えました。

来年3月に、あと5本ほど植える予定で、その時は子どもたちが体験できるように計画をするそうです。

P T A大隅ブロック 団体表彰受賞



6月5日、鹿児島市で行われた県PTA連合会総会で曾於市PTA連絡協議会大隅ブロックが団体表彰を受賞しました。

この賞は、平成20～21年にかけて県Pから委嘱を受け、様々な活動を実践しながらその成果と課題を研究発表した事を認められての受賞であります。

昨年、大隅南小、月野小、大隅中学校が発表しましたが、その他の大隅ブロック内の単Pと協力しながら、委嘱公開を盛大に開催しました。

昨年事例発表し、本年度曾於市PTA連絡協議会会長の東久雄さんは、「この受賞はとてもうれしい。各単Pや地域PTAの活動の励みにしたい。今後も家庭・学校・地域が一体となり心豊かな子供達を育てていきたい」とおっしゃっていました。

財部地域

被災者救済



7月3日未明から明け方にかけて、財部地域は時間最大雨量79ミリという記録的な豪雨に見舞われ、甚大な被害が発生しました。左上の写真は、中谷の踊橋集落にかかる橋が川にそのまま落ちたところです。左下は、大川原駅近くの県道が陥没した現場です。市内では、他にも水田、山林等多くの災害が発生しました。そこで、市では、住家等の災害に遭われた方々に対し、少しでも元気を取り戻していただきたいと7月8日災害見舞金の支給をしました。

市長は「行政も出来るかぎり早急な対応をしていますので、復旧まで気を落すことなく頑張ってください」と声をかけました。

被災者からは、「今後二度とこのような災害がおこらないように早急に国や県に対策を講じていただけるよう強く働きかけていただきたい」等の要望がありました。

真新しい壁に生まれ変わりました



7月9日、財部の財部北中学校で、曾於市塗装会の皆さんが階段や踊り場近くの内壁の塗り替え作業をボランティアで行いました。

同会は、市内で塗装業を営む6社の皆さんが加盟し、地域貢献活動の一環として毎年行われているものです。

これまで塗装会では、市内4校でもボランティア作業を行い、今年は財部北中学校で実施。剥がれていた壁が真っ白に塗り替えられ新築同様に仕上がっていました。

会長の新留国弘さんは「今後も市内の学校を中心にボランティア作業を行いながら、地域に貢献していきたい」と話されました。

※6社の内訳は、池田塗装店、山下塗装店、大野塗装、野上田建築板金塗装、竹之下塗装、新留塗装店さんです。